

SDGs宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2023 年 3 月 22 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
SDGsをベースにしたESG経営を通して持続可能な地域社会の発展に寄与する			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
日々の運営を通じて『人を大切にしたい人づくり』と『環境課題の克服』に貢献できるよう活動していきます			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2022年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2023年12月31日までの取組目標
	引き続き学研教室併設校舎増、奨学生制度継続	2023年度も継続し、学費無料で通塾している生徒増	経済的に厳しい家庭向けの奨学生制度の継続
	継続的に夏期講習費からの子ども食堂への寄付を行う	2022年度は165万円を静岡県と山梨県の5か所の子ども食堂へ寄付。生徒や保護者様からの協力も広がった。	今夏も寄付を継続
	生徒や保護者を巻き込んだSDGs活動の継続、新しいシステムの校舎運営を開始	地域の清掃活動や、夏期講習時の『SDGsの日』と称した勉強会などで、学力向上だけでなく教育を行った。	継続して生徒保護者を巻き込んだSDGs活動と、地域の皆さんとの連携強化
	学研教室併設校舎の増設。女性社員の積極採用、女性管理職育成	20校舎以上に学研教室増加。女性社員4名増。	女性校舎長育成を目指し、家庭子育てとの両立が可能な新しい勤務形態や管理職育成のためのプロセスを準備し実行
	間接部門を中心に新たな部署を創設、組織改革により若手の管理職増	本部長・副本部長職を創設。映像授業を利用した新しい業態を作り、校舎責任者増	継続して組織変革により、活躍の場を増やしていく
	1校舎増えるが、使用量据え置きできるように引き続き各校舎で使用料節約に努める	電気料金値上げがあるが、電気利用料の数値化で、全社員の節約意識を維持	再生紙工場や障害者就労支援施設と協力し、古紙回収を積極的に行う
	1校舎増えるが、使用量据え置きできるように引き続き各校舎で節電に努める	電気料金値上げがあるが、電気利用料の数値化で、全社員の節約意識を維持	新部門増設に伴い使用量が増えると考えられるが、街灯の自動点灯時間を短縮したり電灯のLED化を進めていく
	入塾資料や生徒資料の更なるデータ化	入塾手続きを用紙からタブレットに変更	紙チラシを減らし、電子媒体での宣伝活動を増やす

（記載上の注意）

- 1 取組目標は**3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載**してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	株式会社文理学院	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	
2	業 種	11. 教育、学習支援業	
3	従業員（構成員）数	173名	
4	代表者 職・氏名	職 名	代表取締役社長
		氏 名	小倉 勤
5	所 在 地	〒 422-8027	
		静岡県駿河区豊田1-1-37	
6	ホームページURL	https://www.bunrigakuin.com/	